

(様式第1号)

2019年4月26日

認定介護福祉士認証・認定機構
理事長 大島 伸一 様

領域名： マネジメントに関する領域
科目名： 介護サービスの特性と求められるリーダーシップ、人的資源の管理
単位数： 1単位
認証申請する研修の名称： 認定介護福祉士養成研修

団体名： 一般社団法人静岡県介護福祉士会
団体事務所の所在地： 〒 420-0856
静岡県静岡市葵区駿府町1-70 静岡県総合社会福祉会館4階
電話： 054-253-0818
FAX： 054-253-0829
E-mail： shizukai@cy.tnc.ne.jp

下記書類を添えて上記科目に対する研修の認証を申請します。

団体代表者： 一般社団法人静岡県介護福祉士会 印
申請責任者： 会長 及川 ゆりこ

記

○認定介護福祉士研修認証申請書（別紙1～3）

<機構使用欄>

受付	
確認	
委員付託	
追加連絡	
評価報告	
理事会承認	
認証番号	

認証申請科目に対する研修の内容

申請対象の領域	マネジメントに関する領域	
科目名	介護サービスの特性と求められるリーダーシップ、人的資源の管理	
(1) 提供する研修について		
研修名	認定介護福祉士養成研修	
教育目的	<ul style="list-style-type: none"> 介護サービスの特性を理解し、介護サービスのマネジメントについての考え方を獲得させるとともにそのための手法や基本的な考え方について理解させる。 	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 介護サービスの特性について具体例を挙げて説明できる。 介護サービスの特性を踏まえて、求められるマネジメントの方向性について、説明できる。 リーダーシップに関する理論のポイントを概説できるとともに、自分や他者のリーダーシップやタイプやあり方について理論を用いて考察できる。 モチベーションに関する理論のポイントを概説できるとともに、自分や他者のモチベーションの現状や向上策について理論を用いて考察できる。 キャリアに関する基礎的な理論や考え方を理解し、他者に説明できる。 	
研修内容（研修プログラム）	含むべき内容	研修プログラム
	<ul style="list-style-type: none"> ○介護サービスの特性と求められるマネジメント <ul style="list-style-type: none"> ・介護サービスの特性（サービスマネジメント論にもとづくサービス財の一般的特性、サービス評価の二面性、利用者の変容性、期待の不明確性、連続性）と特性に沿った提供のあり方 ・介護サービスと他サービスとの相違点の理解 ・倫理・専門性を持つことの意義、リスクマネジメント、評価、コンプライアンスの重要性 ○リーダーシップ、モチベーション <ul style="list-style-type: none"> ・モチベーション（職員のやる気）、リーダーシップに関する基礎的な理論 ・理論を用いた自分やメンバーのリーダーシップやモチベーションの分析 ○キャリアと経験学習 <ul style="list-style-type: none"> ・キャリアとは何か（様々な定義） ・初期、中期、成熟期の介護職員のキャリア課題について学ぶとともに、自分・部下・上司のキャリア意識（キャリアオリエンテーション、キャリアアンカー、仕事観）の把握の視点 ・キャリアの考え方の理解 	<ul style="list-style-type: none"> ○事前課題①（3時間） <p>サービス財の特性、介護サービスの特性、組織と集団の理論、リーダーシップ理論、モチベーション理論、キャリア論、学習論について、講師が指示する参考資料（講師作成資料、参考文献、講師用ガイドラインにある習得すべき知識）を読んで学習する。</p> ○事前課題②（1時間） <p>自分自身のリーダーシップの特徴と今後リーダーとして成長していくうえでの課題について、具体例をあげてリーダーシップの理論に基づいて自己分析し、レポートにまとめる（1600字以上）。</p> ○講義（2時間）「介護サービスの特性と求められるマネジメント」 <p>事前課題①を踏まえ、介護サービスの特性、求められるマネジメント等を総説</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マネジメント領域の学習と本科目の位置付け ・公的サービスとしての質の確保と向上の必要性（求められる専門性・倫理、説明責任、コンプライアンス、サービスの標準化、評価と継続的改善、リスクマネジメント） ・介護サービスの特性（サービス一般の特性と比較した場合の介護サービスの特性） ・サービスマネジメントシステムとサービスプロフィットチェーン、従業員満足・モチベーション管理の重要性 ・組織・チーム・集団とリーダーシップ ・職員のモチベーション・キャリア支援 ○講義「リーダーシップとモチベーションの理論」（2時間） <p>事前課題①を踏まえ、リーダーシップ理論、モチベーション理論のポイントを解説</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リーダーシップの理論（資質論、行動理論、コンティンジェンシー理論、サーバントリーダ

	<p>と内省:組織内のキャリアラダー(キャリアコーン)、専門職としてのキャリア、ハプンスタンスアプローチ(plannedhappenstance 理論)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 経験学習理論と介護職における経験学習、成長経験 	<p>ーシップとフォロワーシップ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ モチベーションの理論 (内容理論と過程理論、外発的動機と内発的動機) <p>○ 演習「自身のリーダーシップを省察する」(3時間)</p> <p>介護サービスの場で起きがちなリーダーシップの課題 (部下のモチベーション管理の事例も含む) について事例を示し、リーダーシップ理論を用いて分析する。あわせて、事前課題②に基づき自身のリーダーシップの課題についても省察する。</p> <p>○ 講義「メンバーのキャリア支援と学習・成長支援」(1時間)</p> <p>事前課題①を踏まえ、キャリア支援、学習理論のポイントを概説するとともに、チームメンバーのキャリア支援、学習支援、成長支援をはかるうえでのリーダーとして、組織としての取組を説明する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ キャリアに関する理論 (キャリアの概念、キャリア開発のプロセス、キャリアの方向・意識・価値観) ・ 成人の学習と成長の支援 (成人学習論、経験学習論、知識創造の理論) ・ 組織における成長支援の仕組み、リーダーの役割 (目標管理、キャリアラダー等) <p>○ 事後課題(3時間)</p> <p>自職場の介護職チームにおける、小チームリーダーのリーダーシップの現状、部下のモチベーションの現状と、これらを向上させていくための組織的なまたリーダーとしての自身の取組課題について、研修で学んだ理論を用いて分析し、考察する。</p>
<p>研修方法</p>	<p>■ 集合研修 ■ 課題学習</p> <p>○ 集合研修講義と演習を組み合わせで行う。 ○ 課題学習は事前課題として、①資料を読み自己学習、②レポート課題を課す。事後課題としてレポート課題を課す。評価は担当講師が行う。</p>	
<p>研修時間</p>	<p>15 時間 (集合研修 8 時間、課題学習 7 時間)</p>	
<p>修了要件</p>	<p>○ 全課程の出席を要する。公共交通機関の影響、冠婚葬祭、担当する利用者の急変といったやむを得ない事情による遅刻又は早退については 30 分を上限として認める。(レポート課題あり)</p> <p>○ 修了評価は、①講義で学んだ基礎理論に関する筆記試験 (40%)、②事後課題 (40%)、③講義・演習への参加貢献度及び理解度等 (20%) として、100 点満点中 80 点以上を A 評価、70~79 点を B 評価、60~69 点を C 評価、それ未満の場合は D 評価とする。①が D 評価の場合は再試験、②が D 評価の場合は再提出とし、C 評価以上とならなければ修了を認めない。</p> <p>○ 集合研修を欠席した場合、課題が提出されていても修了を認めない。</p>	
<p>講師要件 (講師の選定基準)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 当該科目における十分な知識・専門性を有し、講師等の教育経験があること ・ 修士課程を修了していることが望ましい ・ ①介護福祉士で介護職員として 10 年以上の勤務歴を有する者②介護現場をフィールドとした組織行動論に関わる研究論文 (筆頭者以外を含む) を執筆している者③その他、介護現場の実態についての理解が十分あり、①②に準ずると求められる者が望ましい。 ・ 補助者についても当該科目における十分な知識・専門性を有し、講師等の教育経験がある者 	

(2)受講者について	
受講対象 (受講要件)	<p>単位取得できるのは介護福祉士資格を有する者であること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「認定介護福祉士概論」を修了していること。 ○ユニットリーダー又はサービス提供責任者以上の職歴が3年以上の者が望ましい。
修了評価	<p>修了評価は以下により行う。</p> <p>①講義で学んだ基礎理論に関する筆記試験（20問以上、40点）</p> <p>②事後課題の評価（40点）…現状や問題点が明確に記述されていること、研修で学んだ理論が適切に用いられて、自身及び職場の課題が明確に分析・考察されていることを評価の観点とする。</p> <p>③講義・演習への参加貢献度及び理解度等（20点）</p> <p>以上の修了課題について①を4割、②を3割、③を3割として、100点満点中80点以上をA評価、70～79点をB評価、60～69点をC評価、それ未満の場合はD評価とする。</p>
(3)研修の環境条件	
定員（講師の配置基準）	<p>40名（講師1名）演習時も同じ講師で行う。</p> <p>ファシリテーターとして認定介護福祉士で1～2名とする。</p>
開催場所（都道府県）	<p>静岡県総合社会福祉会館シズウエル（静岡県静岡市葵区駿府町1-70）</p>

コマシラバス

【介護サービスの特性と求められるマネジメント】

1日【8時間】

具体的なコマシラバス本科目に関しては1時間を45分換算します。

区分	科目名	時間	内容
1コマ目	講義「介護サービスの特性と求められるマネジメント」	9:30～11:00	90 <ul style="list-style-type: none"> ・マネジメント領域の学習と本科目の位置付け ・公的サービスとしての質の確保と向上の必要性(求められる専門性・倫理、説明責任、コンプライアンス、サービスの標準化、評価と継続的改善、リスクマネジメント) ・介護サービスの特性(サービス一般の特性と比較した場合の介護サービスの特性) ・サービスマネジメントシステムとサービスプロフィットチェーン、従業員満足・モチベーション管理の重要性 ・組織・チーム・集団とリーダーシップ ・職員のモチベーション・キャリア支援
	休憩	11:00～11:10	
2コマ目	講義「リーダーシップとモチベーションの理論」	11:10～12:40	90 <ul style="list-style-type: none"> ・リーダーシップの理論(資質論、行動理論、コンティンジェンシー理論、サーバントリーダーシップとフォロワーシップ) ・モチベーションの理論(内容理論と過程理論、外発的動機と内発的動機)
	昼食休憩	12:40～13:40	
3コマ目	演習「自身のリーダーシップを省察する」	13:40～15:55	135 介護サービスの場で起きがちなリーダーシップの課題(部下のモチベーション管理の事例も含む)について事例を示し、リーダーシップ理論を用いて分析する。あわせて、事前課題に基づき自身のリーダーシップの課題についても省察する。
	休憩	15:55～16:05	
4コマ目	講義「メンバーのキャリア支援と学習・成長支援」	16:05～16:50	45 <ul style="list-style-type: none"> ・キャリアに関する理論(キャリアの概念、キャリア開発のプロセス、キャリアの方向・意識・価値観) ・成人の学習と成長の支援(成人学習論、経験学習論、知識創造の理論) ・組織における成長支援の仕組み、リーダーの役割(目標管理、キャリアラダー等)
	休憩	16:50～17:00	
	追試験等(終了時間は調整)	17:00～17:45	

認証申請する研修の実施体制等 (届出事項)

(1) 研修の実施予定	
実施日	① 2020年10月 3日
	②
	③
	④
開催場所 (会場)	① 静岡県総合社会福祉会館 (静岡市葵区駿府町1-70)
	②
	③
(2) 講師	
担当、氏名及び略歴	<p>○介護サービスの特性と求められるリーダーシップ、人的資源の管理</p> <p>諏訪 徹氏 (日本大学 文理学部 社会福祉学科 教授)</p> <p>略歴；</p> <p>1988年全国社会福祉協議会に入職。中央福祉人材センターでは「介護サービス従事者の研修体系の在り方に関する研究」(2004年～厚労省老健局補助事業)に従事し、介護職員基礎研修、介護福祉士ファーストステップ研修等の検討作業を担当。</p> <p>2008年7月より厚生労働省社会・援護局総務課社会福祉専門官(地域福祉課・福祉基盤課併任)。厚労省において社会福祉士制度、介護福祉士制度等を担当。実務者研修、初任者研修、認定介護福祉士、認定社会福祉士の検討などに参画。</p> <p>2013年4月より現職。2015年から認定介護福祉士認証・認定機構理事</p> <p>認定介護福祉に関する講師歴；</p> <p>認定介護福祉士モデル研修(マネジメント領域)</p> <p>認定介護福祉士追加研修(地域におけるプログラムの開発)</p> <p>長野県認定介護福祉士研修(地域におけるプログラムの開発)</p> <p>介護福祉関係の主な著書：</p> <p>「介護福祉士による生活支援の考え方」『介護福祉』社会福祉振興・試験センター，2016年春季号 No. 101，2016年</p> <p>編著『介護福祉の組織・制度論』光生館，2015年</p> <p>編著『生活支援総論』光生館，2014年</p> <p>「キャリアパスと職場内訓練」『認知症ケア事例ジャーナル』第6巻第1号，2013年6月，日本認知症ケア学会</p>

	<p>担当する講義等 事後課題評価 諏訪 徹氏 経歴等は同上</p>
(3)実施体制	
<p>研修の企画運営の組織 (担当部局・人員)</p>	<p>認定介護福祉士養成研修実行委員会（非常勤:6名） 委員会事務局（担当事務局員：常勤2名・非常勤2名）</p> <p>認定介護福祉士養成研修委員会において各科目の教育目的や到達目標を確認し、担当講師と科目間の連間や留意点について共有する。またできる限り研修実行委委員会の委員が研修に参加・見学し、研修内容を評価するとともに、随時研修の見直しを図る。</p>
<p>研修の企画運営に関する諸規程</p>	<p>静岡県介護福祉士会の定款、研修委員会の諸規程に準ずる。</p>
<p>研修管理責任者職名</p>	<p>会長</p>
<p>研修管理責任者氏名</p>	<p>及川 ゆりこ</p>
<p>機構問合せ先部署</p>	<p>静岡県介護福祉士会事務局</p>
<p>機構問合せ先担当者氏名</p>	<p>平野 美智子</p>
<p>機構問合せ先電話番号/FAX</p>	<p>054-253-0818 / 054-253-0829</p>
<p>機構問合せ先 e-mail アドレス</p>	<p>shizukai@cy.tnc.ne.jp</p>
<p>受講問合せ先部署</p>	<p>静岡県介護福祉士会事務局</p>
<p>受講問合せ先担当者氏名</p>	<p>平野 美智子</p>
<p>受講問合せ先電話番号/FAX</p>	<p>054-253-0818 / 054-253-0829</p>
<p>受講問合せ先 e-mail アドレス</p>	<p>shizukai@cy.tnc.ne.jp</p>
(4)研修履歴の管理体制	
<p>受講者への付与単位部門</p>	<p>静岡県介護福祉士会事務局</p>
<p>受講履歴の管理方法</p>	<p>○紙媒体及びデータによる台帳管理 ○データ保存期間は最低10年間とし、その後は、紙媒体で保管する。 ○個人情報の取り扱いにおいては、法律を遵守する。</p>
<p>受講履歴の証明</p>	<p>各科目を修了した時点でその科目の修了証明書を発行し、全課程を修了したのものには、全課程を修了した証明書を発行する。</p>
<p>管理責任者氏名</p>	<p>及川 ゆりこ（会長）</p>
<p>管理担当者氏名</p>	<p>平野 美智子（事務局長）</p>